

防災学習⑤ 江戸川区の水害対策

■大水害の危機から区民の生命・財産を守るスーパー堤防

これまでの堤防は、過去に発生した洪水や高潮をもとに整備を進めてきました。しかし、近年多発する異常気象などのために、予想をはるかに超えた洪水や高潮が発生する危険性が非常に高くなっています。

そのため、これまで以上に壊れない・崩れない堤防=スーパー堤防の整備が必要と考えられます。スーパー堤防の整備は、江戸川区を流れる全沿川を目指し、順次進めています。

スーパー堤防でより強固な水防を確立します

スーパー堤防は、一般の堤防の高さの約30倍の幅、または約50mの幅を持つ強固な堤防です。浸水時の避難場所になるため、避難・救援の拠点としての利用も考えられています。

今までの堤防



スーパー堤防



■江戸川区は、全沿川のスーパー堤防の整備を目指しています

スーパー堤防は以下のような箇所で整備を進めています。

- 地盤が軟弱、低地などの水害の危険性が高いところ
- 木造密集市街地などで、災害危険度の高いところ
- まちづくり事業の計画があるところ
- 水害に強い高台の避難場所が必要なところ

現在の整備状況

- A** 平井七丁目地区(完了)
- B** 小松川地区(事業中)
- C** 北小岩エリア(事業化準備中)
- D** 篠崎公園エリア(事業化準備中)
- E** 江戸川二丁目地区(事業中)
- F** 葛西臨海公園(完了)

